



教授
安藤 孝敏

アンドウ タカトシ



大学院環境情報研究院 社会環境と情報部門
大学院環境情報学府 環境イノベーションマネジメント専攻
takatoshi-ando-vf@ynu.ac.jp
http://www.ando-lab.ynu.ac.jp/
https://orcid.org/0000-0003-3261-5379

社会科学
心理学

社会心理学

高齢者理解と支援
高齢期の居住移動と適応
高齢期の社会関係
人と動物の関係学

【研究概要】

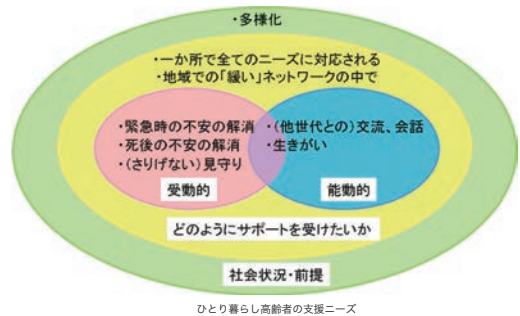
自立して生活している多くの高齢者は主体的に高齢期の生活をデザインしています。このような自立した高齢者を中心に、近未来の超高齢社会のあり方について提言できるような実証研究に取り組んでいます。

【アドバンテージ】

- ・社会調査などの量的データに基づく実証研究
- ・介護やケアという視点ではなく、ふつうに暮らしている高齢者の視点を重視した実証研究

【事例紹介】

- ・高齢期の居住移動に伴う諸問題を予測して、適切に対処できるような支援
- ・社会的に孤立したひとり暮らし高齢者への支援
- ・集合住宅における多世代交流の企画・実施
- ・ペットをなくした人へのサポート



■ 相談に応じられるテーマ

中高年の新しいライフスタイルの提案
多世代交流活動の企画
ペットを飼っている高齢者への支援
社会的に孤立した高齢者への支援

■ 主な所属学会

日本心理学会
日本老年社会学会
日本応用老年学会
日本健康心理学会
人と動物の関係学会

■ 主な論文

『都市部のひとり暮らし高齢者における孤独感の関連要因』「横浜国立大学教育人間科学部紀要III」2016. 2
『独居高齢者は誰に援助を求めるか：高齢者における被援助志向性と援助要請を行う対象との関連の検討から』「技術マネジメント研究」

2015. 3

『民間団体による独居高齢者への支援活動の現状と課題：支援団体へのインタビューから』「技術マネジメント研究」2011. 3
『地方都市における高齢者の社会関係：気心が知れた他者の特性』「老年社会科学」2007. 4
『高齢期の転居とその影響』「フィナンシユアランス」2003. 4

■ 主な著書

「改訂・新社会老年学—シニアライフのゆくえ— ワールドプランニング 2008. 11
「エイジング心理学：老いについての理解と支援」（分担執筆）北大路書房 2008. 8
「ペットと生きる —ペットと人の心理学」（訳）北大路書房 2006. 5